

支援プログラム

■事業所における基本情報

1. 事業所名：児童発達支援・デイサービス はるプラス港南
2. 作成(更新)年月日：2024年9月23日
3. 法人(事業所)理念・・
18歳になるまで、そして、18歳以降も視野に、その子にとって最善の生活ができるようご家族・関係者と連携して支援します。
4. 支援方針・・
理念を実現するために、私たちは、以下の方針(価値観)により行動します。
①はるは子どもたちにとって、安全で安心できる居場所であることが基本です。
②有効な療育法は積極活用しますが、万能ではなく、人の数だけ解があると考えます。
③個別支援計画を協働で検討、日々の活動で実践、結果を共有、改善サイクルにつなげます。
④スタッフ個々の能力アップを図り、方針を共有し、チームワークを発揮します。
⑤課題解決のため、ご家族・関係者・専門家と連携します。
・・
5. 営業時間：
放課後等デイサービス 平日 13:00～17:00 休校日 10:30～16:30
6. 送迎実施：有

■支援内容

7. 本人支援の内容と5領域の関連性
5領域をカバーしたアセスメント(S-M 社会生活能力検査、KIDS、Vineland-II等)をおこなうことで児童の発達段階・特性等を把握、それに対応した個別支援計画を5領域との関連性を示した上で作成し、目標達成・改善サイクルを回していきます。
また、組織内に在籍する専門職(言語聴覚士、作業療法士、理学療法士、心理士)も関連する領域について対応します。各領域についての概要は以下のとおりです。

【健康・生活】

健康状態を把握した上で、生活スキルの獲得、生活環境の調整を図ります。
→排泄・着衣など身辺自立、食事マナー、スケジューリング・切替え、構造化などによる環境調整等

【運動・感覚】

姿勢保持・運動機能・バランス機能・動作等の基本的技能の向上、感覚の総合的な活用、および、補助手段の活用。
→体操・ストレッチ・歩行訓練などによる運動、感覚を刺激するような遊び等

【認知・行動】

概念形成などの認知発達を図り、合わせて、行動問題等への予防・対応をします。

→空間・時間・数等の概念形成のための創作活動やゲーム、応用行動分析等

【言語・コミュニケーション】

言語の形成と活用、コミュニケーション能力の獲得、および、代替手段の活用を図ります。

→挨拶、共同作業・ゲームなどによるコミュニケーションの促進、言語、カード、手話等

【人間関係・社会性】

自己の理解と他者との関わり、集団・社会への参加を促します。

→ゲーム・スポーツなど他者との関わり・ルール理解、ソーシャルスキルトレーニング、自力歩行訓練、買い物学習等

8. 家族支援(きょうだいへの支援も含む)の内容

- ・気になることがあれば、電話などで相談を受ける体制をとっています。また、送迎時に、その日の様子など含め、情報共有します。
- ・アセスメントや支援計画作成過程で児童の課題や対応方法など共有します。支援会議などではご家庭・学校など事業所以外での活動も含めた広い範囲での相談に対応しています。
- ・課題解決のため、あるいは、ご希望に沿って、来所での相談や児童の活動の見学、あるいは、ご家庭を訪問することもあります。

9. 移行支援の内容

- ・保育園や学童等との情報共有や連携を図っています。
- ・進路や移行先についての相談や移行に向けての支援をおこないます。
- ・公園での活動や買物体験などで、他の児童や社会との接点を持つ機会を設けます。
- ・地域でのイベントへの参加など

10. 地域支援・地域連携の内容

地域のさまざまな関係機関との連携を図っています。

- ・行政、保育所、学校、療育センター、相談支援事業所、障がい児通所支援事業所等

11. 職員の質の向上に資する取組

- ・施設として人材育成プログラムを策定し、スタッフの人材育成に取り組んでいます。
- ・OJT や外部研修
- ・研修や資格取得への助成措置

12. 主な行事等

- ・季節行事(プール・流しそうめん・すいか割り、ハロウィン、クリスマス、書き初め、初詣等)、調理、外食・遠足等外出、地域イベント等
- 以上